

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ピンキラーⅢ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ピンキラーⅢ**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

4 1/2 インチ

研磨剤  番

**比較対照ボール：ピンキラーⅡ**

フレアーの幅  インチ

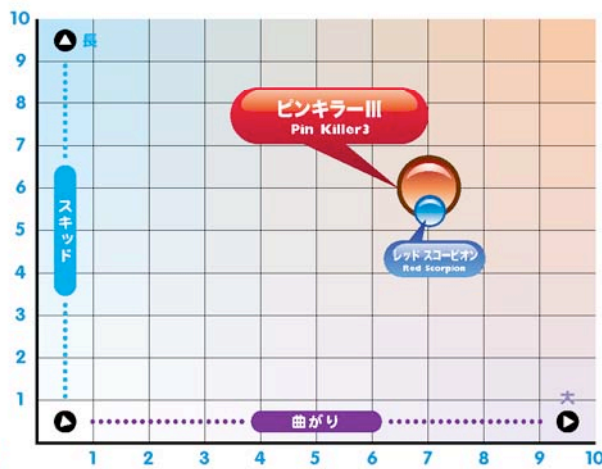
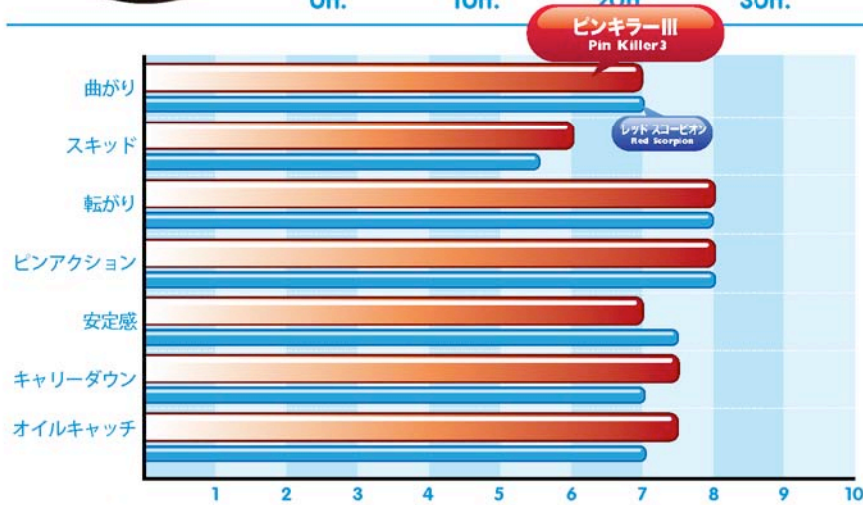
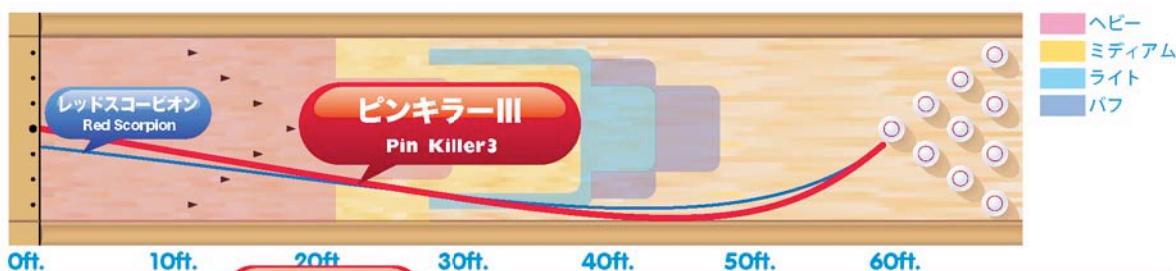
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

4 1/2 インチ

研磨剤  番



### ボールの評価

ダイナタン社ピンキラーと言えば、クリーンな走りと暴れるぐらいのバックエンドリアクションが代名詞とされてきました。今回ピンキラーの第3弾はシリーズ最大の摩擦力を持つカバーストックを搭載し、シリーズ最大のスキッド力とキャッチ力・バックエンドモーションが開発コンセプトです。

このピンキラーⅢの最も注目すべき点は、今回シリーズ最大のキャッチ力を生み出す為に採用したKILLER REACTIVE MAXXを"Extender POLISH"したところでしょう。

Extender POLISHはポリッシュ加工におけるスキッドを増加させ、バックエンド及びフックレイティングを抑える事のできるコンパウンド素材です。そこで想像してみてください。「キャッチ力の強いカバーストックのボールで、そのキャッチ力が走り感を妨げ、途中でパワーロスをし、バックエンドで本来持っているパワーを放出できなかったとするならば…」そうです。このピンキラーⅢはあえて強いカバーストックを用い、Extender POLISHで表面の加工を出来るだけスムーズにする事により、キャッチ力を失わずにクリアなスキッド感を実現させ、そのカバーストックの強さをドライゾーンに反映させる事が目的なのです。

初代ピンキラーから続く"Keen Core"を今回も使用し、ピンキラーの名を受け継ぐに相応しい性能で発売致します。ピンキラーシリーズから続く、ミッドプライスの価格帯で今回も即日完売となるでしょう。

新春第一弾は"爆発予告"からのスタートです。

### 特記事項

**Extender POLISH仕上げの絶妙なスキッド感とキャッチ力。**  
**Extender POLISH表面加工の真髄は、その性能で発揮いたします。**